

かんてつ 通信 貫徹

12月 定例議会報告

No. 46



徹する力。

藤沢市議会議員
おおや 徹

発行日
2021年1月
発行者
藤沢市議会議員
大矢 徹（おおや とおる）
連絡先
藤沢市鶴沼藤が谷 4-17-5
~302
【自宅】0466-47-8255
【携帯】090-8850-6062
【メール】ohya.toru@gmail.com
ホームページ
<http://www.ohyatoru.com>

年頭に
あたって



令和3年の新年を皆様はどのように過ごされたでしょうか。昨年は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、私たちの生活も大きく変化し、年末にはGoToトラベルが一時停止となり、静かな年末年始が求められました。早くワクチンや治療薬が開発・承認され、安心できる日常に戻ることを切に願います。

正月恒例の箱根駅伝は、コロナ禍で応援自粛の中での開催となりましたので、沿道に各校の旗もなく、寂しい感じがしました。大会は創価大学が往路で初優勝、復路は往路12位と不振だった青山学院大学が意地を見せて優勝、そして総合優勝は、最終10区で駒澤大学が首位を走る創価大学を残り2kmで抜いて劇的な優勝を果たしました。母校の日本大学は予選落ちして出場ができませんでしたので、来年こそは参加できるよう予選会突破に期待します。

12月議会内容

11月26日から12月16日まで、12月定例議会が開催されました。主な内容は、工事請負契約の締結（藤沢駅東西地下通路再整備工事）、指定管理者の指定、藤沢市スポーツ振興基金条例の一部改正、令和2年度藤沢市一般会計補正予算などです。

なお、補正後の一般会計は、2,005億7,077万9千円、特別会計が、1,210億7,082万3千円となり、一般会計と特別会計の総額は、3,216億4,160万2千円となります。

1. 善行六丁目特定土地を原状回復

善行六丁目特定土地とは、前の所有者が、その前の所有者から約3,000万円で購入した土地を市（土地開発公社の先行取得）が1億850万円で「善行地区における地域コミュニティ活動事業用地」として取得するに当たって、市議会から「それはおかしい」として、地方自治法第100条に基づく、調査特別委員会（百条委員会）が設置され、調査した結果、平成24年8月に、市はその土地を土地開発公社から買い戻さないとの結論に至りました。

その後、平成25年3月に土地開発公社と前所有者の間で「確認書」が締結され、当該土地の土地売買契約を合意解除し、当該土地と代金1億850万円をそれぞれ元に戻すことを確認しました。期限の延長を経て、令和2年11月26日に、土地開発公社が1億850万円の支払いを受け、原状回復が完了しました。



この件については、私が市議会議員に初当選してすぐに百条委員会が設置され、精力的に調査を進めてきた案件であり、市や土地開発公社に損害がなく解決でき、本当に良かったと思います。

2. 旧桔梗屋を取得

旧東海道に面する旧桔梗屋は、市内に現存する唯一の店蔵及び江戸時代末期の文庫蔵を含む国登録有形文化財3棟を有する貴重なものであり、旧藤沢宿の景観上重要な拠点としての価値があります。この度、所有者の相続に伴い、旧桔梗屋を取得することとなりました。

建物は、店蔵（土蔵造）119.00㎡、主屋（木造）178.57㎡、文庫蔵（土蔵造）99.36㎡で、建物と土地の計476.69㎡は市に無償譲渡、その他の土地990.42㎡は、2億2,234万9,290円で、土地売買契約（土地開発公社）をしました。

今後は、地域の関係団体との意見交換、有識者へのヒアリング、民間事業者へのサウンディング調査等を実施し、より魅力のある利活用計画の実現をめざします。

旧桔梗屋とは？

桔梗屋は、旧東海道藤沢宿で茶・紙問屋を営んだ旧家。土蔵造の店蔵は、黒漆喰仕上げで1階に重厚な観音開の塗籠戸を吊るなど、優秀な左官技術を伝えています。文庫蔵は当地で近世に遡る貴重な例で、店蔵とともに東海道の旧宿場的雰囲気を与えています。



3. 「藤沢市民病院健全経営推進計画」の素案及び新たな診療体制の構築について

平成29年3月に策定（平成30年8月に改訂）した「藤沢市民病院健全経営推進計画」について、今年度が計画期間の最終年度となることから、新たな計画を策定しており、その素案が報告されました。具体的な取り組みとして掲げられている4つの「基本指針」と新規の主な取り組みは次の通りです。

【基本指針1】医療機能の充実

多様な診療機能により、引き続き、地域完結型医療の推進に取り組む。

【新たに取り組む項目】

- 救急医療におけるドクターカー運用の広域化
- 周産期医療における母児同室の整備
- ゲノム医療における、がん及びがん以外の先天性疾患等を含めた医療の提供体制の検討
- がん医療におけるゲノムセンターの組織化
- 生体腎移植の実施継続に向けた腎センターの組織化

【基本指針2】新型コロナウイルス等感染症への対応

感染対策を徹底し、感染症患者受入のために必要な病床の確保を行うとともに、検査が必要な入院・外来患者に対するPCR検査体制の充実を図り、安全・安心な医療提供体制を継続する。

【新たに取り組む項目】

- 全入院患者に対するPCR検査の実施

【基本指針3】医療のデジタル化への柔軟な対応

デジタル化を通じた強靱な医療体制の構築として、オンライン資格確認、電子処方箋等への環境づくりを進めるとともに、新型コロナウイルス感染症対策のひとつとして、電子機器を使用した診療体制等について、研究を進める。

【新たに取り組む項目】

- 慢性疾患等患者へのオンライン診療ができる環境づくり
- マイナンバーカードを活用した保険証の資格確認や処方せんの発行のオンライン化に向けた環境づくり
- 地域医療機関とオンラインによる退院調整等の環境づくり

【基本指針4】経営の効率化及びその他機能強化に関わる取り組み

経営状況の改善に向け、収益確保を図るための対策、経費の削減等を実施し、持続可能な経営に向けた取り組みを行います。また、患者サービスの向上や医療機能充実のため、さらに「働き方改革」を推進するなど、病院を取り巻く環境の変化に対応するとともに、収益の向上と人件費のバランスを十分精査した上で、必要な執行体制を確保していきます。

【新たな取り組む項目】

ありませんが、引き続き継続的な取り組みを進めます。

4. 朝日町駐車場の運営見直しについて

市役所本庁舎に隣接する朝日町駐車場の駐車料金の収入は、本市の貴重な財源であり、その確保が重要な課題となっています。今回、効率的な運営や利用者の利便性向上に向けた運営方法の見直しについて概要が報告されました。

具体的には、令和3年4月から、民間事業者への貸付による運営とし、電子マネーやクレジットカードの利用開始を予定しています。

その他

1. 学校給食費横領事件について

学校給食課元職員による給食食材費の横領については、2011年頃から行われ、2016年に発覚、2019年に約5,500万円の横領額が確定しました。そして、刑事裁判を経て2020年12月18日に懲役3年6月が確定しました。横領した約5,500万円を市が税金で穴埋めしているため、あらゆる手段をもって返金されることを願うとともに、今後の経過を注視していきます。

2. 新型コロナウイルスの市内発生状況

新型コロナウイルスの市内感染状況については、12月から急増し、市保健所発表では累計1000人を超えています。

感染者は増加傾向にあり、しかも感染経路不明の若い世代が多くなっています。陽性者が出れば、保健所職員により積極的疫学調査（感染経路の特定や濃厚接触者の調査）などを行うことになり、陽性者が多い日が続いていることで、職員の精神的・肉体的疲労による鬱などの精神疾患がとて心配です。これは、コロナ患者を受け入れている市民病院職員や消防職員も同様です。1月7日に神奈川県を含む1都3県に「緊急事態宣言」が発令されており、現場の状況がひっ迫していることを踏まえて、市としても早急な対応を願うところです。



大船軒
天ぷらそば
中華そば



天ぷらそば



中華そば

今回紹介するのは、JR藤沢駅ホーム、階段下にある「大船軒」の立ち食いそば。大船軒の立ち食いそばは、大船駅、茅ヶ崎駅にもありましたが、今は藤沢駅にしかありません。ここの天ぷら（かき揚げ）そばが大好きなのですが、実は、中華そばもおすすめで、下手なラーメン屋よりずっと美味しいと思います。立ち食いそば屋さんが年々なくなっている中、いつまでも残っていてほしいお店です。

おおや 徹ホームページのご案内

時事問題や趣味の食べ歩きを活かしたコラムなど、写真も多く掲載しながら書き綴っています。

「大盛り・セット食べません」シリーズも継続中。こちらの進捗も期待してください。

議会情報もダイジェストで素早くアップしています。

是非ご覧ください！

[おおや 徹](#) [検索](#)

クリック! もしくは

